社明 みやぎの

（社会を明るくする運動宮城野区推進委員会）

会報 第27号
令和7年1月1日
発行責任者
社会を明るくする運動
宮城野区推進委員会
委員長 小松 啓祐
事務局：宮城野区
保健福祉センター
家庭健康課

「明るい社会の実現を目指して」

社明宮城野区推進委員会
委員長　小松　啓祐

新年あけましておめでとうございます。

日頃より「社会を明るくする運動」にご協力を賜り心から感謝申し上げます。

法務省の主唱のもとに行われているこの運動の正式名称は「社会を明るくする運動～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」と言います。毎年強調月間の七月を中心に、犯罪や非行のない安全で安心な明るい社会の実現を目指して、全国的に展開している運動です。

宮城野区では原町・東仙台・鶴ケ谷・高砂・幸町・岩切・榴岡・宮城野の各地区で、推進委員を先頭に地域の大勢の皆様にご協力をいただきながら、市民センターや小学校・中学校、ＪＲ駅頭等において、それぞれの独自の形で啓発に取り組んでいます。

令和三年まで減少していた刑法犯の認知件数が令和四年から増加に転じ、令和五年も増加が続いています。また再犯者の割合も検挙人員の約半数にのぼり、再犯防止が喫緊の課題になっています。犯罪や非行をした人はやがて社会に戻ってきます。この人たちが再び罪を犯すことなく社会の一員として生活を送るためには、社会の人たちの理解と立ち直りのための支援が必要です。

「社会を明るくする運動」は今年七十五回の節目の年を迎えます。運動の趣旨をご理解いただき、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会を明るくする運動によせて

宮城野区長　新妻　知樹

新年あけましておめでとうございます。

社会を明るくする運動仙台市宮城野区推進委員会では、区内八つの地区で街頭キャンペーンや小・中学校と連携した講演会や演奏会などの啓発活動をそれぞれ実施されていると伺っております。私も昨年十月二十日に行われた「みやぎの・まつり」での広報活動にご一緒させていただきました。当日、委員の皆様は、来場された市民の方々に熱心に啓発されており、その一生懸命取り組まれているお姿は、市民の方々にも伝わっていたと存じます。

このような地道で誠実な活動の一つひとつが社明運動への理解を深め、青少年の犯罪や非行の防止、そして明るく繋がりのある地域へとつながっていくものであると期待しております。

宮城野区としましても、青少年が心身ともに明るく健やかに成長し、誰もが安心して暮らせる街づくりを目指してまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社明運動

令和6年度 一年間のあゆみ

5月
宮城野区推進委員会協議会
6月
宮城野区推進委員会役員会
宮城野区長に内閣総理大臣メッセージ伝達
7月
「社会を明るくする運動強調月間」
青少年健全育成講演会
教育機関連携事業として東宮城野小学校にて社明に関する講話及び書籍の朗読並びに社明啓発物品の配布（宮城野地区）
ＪＲ陸前原ノ町駅前にて街頭広報活動及び宮城野コミュニティーセンターにてビデオ上映及び講演会（宮城野地区）
原町小学校・宮城野中学校にて講話及び標語コンクール表彰（原町地区）
鶴ケ谷生鮮市場前及びみやぎ生協鶴ケ谷店前にて啓発活動（鶴ケ谷地区）
楽天モバイルパーク正面玄関前にて街頭啓発活動及び榴岡小学校体育館にて広報活動及び演奏会（榴岡地区）
高砂市民センターにて社明に関する講演会（高砂地区）
クリーン大作戦ＩＮ岩切にて啓発活動（岩切地区）
宮城野区民まつりにて啓発活動
鶴ケ谷市民センター祭りにて広報物品による啓発活動（鶴ケ谷地区）
東仙台地区小中学校にて啓発物品及びチラシによる啓発活動（東仙台地区）
高砂市民センター祭りにて啓発活動（高砂地区）
10月
「秋のこどもまんなか月間」
仙台市青少年フェスティバル
東仙台中学校にてブラスバンドの集い（東仙台地区）
岩切市民センターにて岩切ふれあいコンサート（岩切地区）
幸町市民センター祭りにて広報物品による啓発活動（幸町地区）
福室市民センター祭りにて啓発活動（高砂地区）
宮城野区青少年健全育成講演会（予定）
11月
田子市民センター祭りにて啓発活動（予定・高砂地区）
2月

“社会を明るくする運動”って何？

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

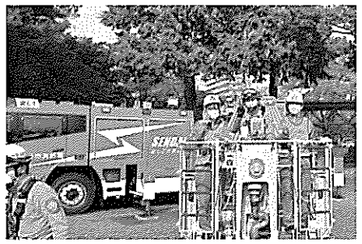
「みやぎの・まつりに参加して」

仙台市立宮城野中学校
二年　坂田（さかた）　大河（たいが）

私達、宮城野中学校は、七十年以上の歴史を持っています。その頃から地域との関わりを大切にしています。

校門を出ですぐの十字路を越えたところにある、榴岡公園で昨年行われた「みやぎの・まつり」では、宮城野中学校から、多くの生徒がボランティアとして参加しました。私たちは、消防コーナーで、消防車等のペーパークラフトを会場に来たお子さんと一緒に作るという活動を消防の方と協力して行いました。最初、私は、普段関わりの少ない年齢の子達との接し方が難しく、上手く説明することができなかったのですが、消防の方がサポートして下さったおかげで、終わる頃には、お子さんと軽く会話ができるほどになりました。完成したときに親御さんから「ありがとう」と言っていただき、地域の一員として、お子さんと関わることができ、とても良い経験になりました。

今年も宮城野中学校は、「みやぎの・まつり」に参加します。他にも様々な活動を通して、地域との関わりを大切にし、この街と未来を歩んでいきたいです。



東仙台小学校の「あいさつ運動」

仙台市立東仙台小学校
五年　髙橋（たかはし）　咲和（さわ）

「おはようございます！」この言葉が学校中に響き渡ると、一日がきもちよく始まります。私たちの学校では、あいさつ運動を一生懸命行っています。あいさつは、ただ言葉をかけるだけではなく、相手に笑顔を向け、一日を明るい気持ちで希望をもって始めるための、とても大切なコミュニケーションの一つだと感じています。

あいさつ運動を始めてから、廊下ですれ違うたびに、自然と「おはようございます。」という言葉が飛び交うようになり、学校全体が明るくなっていると感じます。

あいさつをすると、自分だけでなく、相手にも良い影響を与えることができるということを実感しました。例えば、元気がない友達に「おはよう！」と声をかけると、その子は少しだけ笑顔を見せてくれることがあります。そんな小さな変化でも、私にとってはとてもうれしいことです。

あいさつ運動を通して、私は「あいさつ」の大切さを改めて学びました。あいさつは、人と人とのつながりを深め、より良い人間関係を築くためのはじめの一歩だと思います。

これからも、学校だけでなく、地域社会でも、あいさつの輪を広げていきたいと思っています。将来大人になったとき、どんな時でも周りの人に明るく笑顔で挨拶が出来る大人になりたいです。そして、あいさつ運動で学んだことを忘れずに、社会を明るくする一員になりたいと思っています。

受賞おめでとうございます

第七十四回仙台市推進委員会民間協力功労表彰者
石井　松子　様（鶴ケ谷地区）

私たちが担当しました

▼岩切地区　佐久間松子　▼東仙台地区　米山　裕美
▼幸町地区　佐々木貞巽子　▼原町地区　千葉　澄子
▼榴岡地区　鈴木　良子　▼高砂地区　髙橋由加里
▼宮城野地区　櫻澤　洋美　▼鶴ケ谷地区　小川　秀子

編集後記

新型コロナ感染症も落ち着き日常生活も感染症前の様に過すことが出来るようになってきました。

昨年は真夏日が続き大変な年でしたが「社会を明るくする運動」は各地域で工夫し活動しております。世界は厳しい情勢ですが、早く皆平和になることを願います。

私達の生活している宮城野区地域から誰もが安心して暮らせますよう発信していきたいと思います。

皆様のご寄稿と編集委員のご協力により発行することが出来ました。

感謝申し上げます。

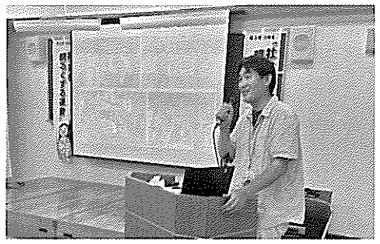
（社明鶴ケ谷地区推進委員会委員　小川秀子）

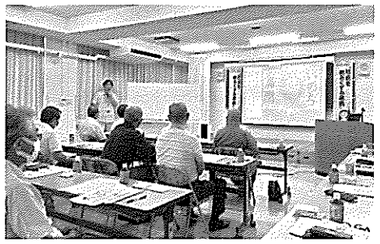
再生紙を使用しています。

学ぶ社明運動
「大人だって子どもだったんだぜ」

社明岩切地区推進委員会
委員長　加藤　健

「いい地域だなあ、いい取り組みだ。ぜひ、我が岩切地区でも話してもらいたい。」そう感じたのが、真宗大谷派徳泉寺住職関口真爾氏の講話を拝聴した時でした。昨年二月に行われた宮城野区青少年健全育成講演会での関口氏の講話は、地域の実情や子どもを取り巻く環境を伝えるものでした。が、そこにコロナ後の閉塞感はなく、元子どもとして、子どもとの関係性を築く様子や、地域住民との交流・イベントの実践を軽妙な語り口で紹介されました。ともに支えあい、育ちあう地域協働コミュニティは、社会を明るくする運動に通じるものがあると思います。





念願叶い、岩切地区社明推進委員会総会時に、関口氏をお招きすることができました。同じ宮城野区の好事例に深い学びを得て、今年度の社明運動が始まりました。この席でもうひとつ感慨深かったのが岩切小小野寺教頭先生の感想です。「岩切の様々な行事や、防犯・交通安全活動等が住民をつなぎ、次世代を育てている。」との心強いエールに、実践に踏み出す力をいただきました。

「社明運動の尊さを再認識」

社明宮城野地区推進委員会
委員長　齋藤　秀一

昨年で七十四年目を迎えた社明運動。私たち推進委員会も例年に無い工夫を取り混ぜながら、七月の強化月間を中心に取り組むことができました。始めに七月五日(金)、JR陸前原ノ町駅周辺で街頭キャンペーンを展開。これには我々メンバーの他、新妻区長をはじめ、各自治会の役員、民生委員、児童委員等多くの方々の参加のもと実施することができました。次に八日(月)は、次代を担う子供たちへの取り組みとして、東宮城野小学校にて、五、六年生を対象に、区担当課と共に社明啓発品の贈呈と社明に関する絵本の読み聞かせに参加。また全校生徒へは別途、社明啓発品を贈呈。九日(火)は、宮城野コミュニティーセンターにて「ビデオ上映と講演」を行いました。社明運動の紹介ビデオを上映した後、「認知症って何?」をテーマに区保健福祉センターによる講演(出前講座)を実施しました。今は六十五歳以上の高齢者の三割超が認知症かその予備軍とされていること、発症すると妄想・徘徊・暴言等により、家庭が崩壊する恐れがあること、介護者へ心身ともに大きな負担が生じること、そういったことにならないよう、認知症の予防には日常対話による積極的な声がけが大切であることなどを学びました。最近、スマホの交流サイト(SNS)を使った闇バイトで悲惨な事件が発生。社明運動の取り組みの尊さが求められております。微力ながらこれからも学校、地域、そして多くの方々と連携し合いながら、犯罪や非行の無い安全で安心な明るい地域社会を築くため社明運動を推進して参ります。

幸町地区の社明運動

社明幸町地区推進委員会
委員長　飯塚　定男

幸町地区社明運動で多大なる功績を残された、故井上範一氏の後任として、委員長をお引き受けし、二年を経過致しました。大変なこともありましたが、委員皆様の強力なご支援を頂き、何とか無事に現在を迎えることが出来ました。

コロナ感染症の為活動も規制されておりましたが、令和五年度より、幸町市民センターまつりが本格的に開催されることになり、幸町地区もまつりに参加し、社会を明るくする運動の知名度アップを図ることに致しました。

昨年も、十一月に幸町市民センターまつりが開催されましたが、前回同様、展示スペースを設け、説明委員を置き来場の皆様にPRを図り、粗品の配布を致しました。盛大に終了することができました。

啓発用のぼりも、中学校、三つの小学校共に掲示しており、子供達への理解を深めることに努力しております。

幸町地区での「犯罪、非行を防止し、立ち直りを支える住み良い地域」を目指して日々努力して、学校、地域と連携しながら、社明運動を推進してまいりたいと思います。

高砂地区の社明活動

社明高砂地区推進委員会
保護司　髙橋田加里

七月十一日(木)に高砂市民センターで講演会を行い、七十名が集まりました。まず、「社会を明るくする運動」について岸田総理大臣(当時)のビデオメッセージを流し、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるのは地域の力である、と確認しました。

河北新報の元専務であった小野木克之氏の講演は、新聞というメディアの在り方を通し、情報の発信元を確認する、発信者の意図を考える、事実と意見を明確にする、反対意見にも目を通す等、情報を読み解く力が大切なこと。寛容な社会を作っていく為には、多様性、違いを認め合い、心をニュートラルに保つこと等と裏話も交えながら話して頂きました。特に、新聞は関わる人が多いので、チェック機能が働くこと。SNS等の個人で発信できるメディアは、真実でない情報も含まれるから要注意ということが印象に残りました。

九月九日(月)の夕方に防犯協会と合同で、高砂駅前で高砂中学校、福田町駅前で田子中学校と一緒に広報活動を行いました。残暑の中、ボランティアの中学生も、駅利用の皆様へグッズを配布しながら、一生懸命呼びかけていました。安心して暮らせる地域社会を築くには、全世代の力が必要だと感じました。

ひまわり

地域の子育て支援拠点施設として

原町児童館（のびすく宮城野）
館長　市川　豊

平成二十四年十月に開館をした原町児童館（のびすく宮城野）は、皆さまに支えて頂きながら地域の児童館、宮城野区の子育て支援施設のびすくとして運営をしています。

産前のプレパパママを対象とした沐浴体験や乳幼児親子の交流、季節のイベント等で子育ての応援をしています。育児の悩みに寄り添う相談もお受けしています。

小学生や中高生は地域の方と触れ合う機会を作り、多世代間の交流を大切にしています。

これからも地域の皆さまと共に子育て支援拠点施設としての役割を果たしていきたいと思っております。

はらラッコ